警報履歴画面で、警報リレーＲ１２００～Ｒ１３８１をＯＮしたとき
対応するメッセージを履歴として蓄積ます。
この例では、１秒毎に監視に行くようにしています。

【メッセージ０の内容】　【サンプリングバッファを使うときの
ビットサンプリングのメモリ指定をＷＲ１２０とする時】

２０１号室ＨＰ　←　Ｒ１２００に対応
２０２号室ＨＰ　←　Ｒ１２０１に対応
２０３号室ＨＰ　←　Ｒ１２０２に対応
・　・
・　・
・　・

【メッセージ２の内容】（状態を表す）
警報
復旧
警報／復旧
警報
復旧

画面０は内部バッファを使う場合の例です。
この場合は、電源を切ると履歴データはクリアされます。

画面１は内部のＳＲＡＭを使う場合の例です。
この場合は、電源を切っても履歴データは保持されます。
ＧＶＷＩＮの転送機能でＳＲＡＭデータの保存／書き込みが可能です。
なお使用上の注意として
画面転送後、最初にsystemキーを押し、F1キーを押して、SRAM／時計を押し、
SRAMﾌｫｰﾏｯﾄをしてください。
さらに、画面に貼り付けてあるＳＲＡＭﾌｫｰﾏｯﾄスイッチを、
初めて履歴データを収集する前に押してください。

以上